

株式会社博報堂DYホールディングス



HakuhodoDY holdings

2020年3月期

中間報告書

お取引先、生活者、社会全体の 価値創造パートナーへ

生活者発想を基軸に、クリエイティビティ、
統合力、データ／テクノロジー活用力を融合し、
オールデジタル時代における企業のマーケティングの
進化と、イノベーション創出をリードする。
そして生活者、社会全体に新たな価値と
インパクトを与え続ける存在になる。

(新中期基本戦略)



目次

- 1 株主の皆様へ
- 2 業績の概況
- 3 連結業績ハイライト
- 4 トピックス
- 6 種目別売上高・構成比
- 7 グループ各社の業績概要
- 8 連結財務諸表（要旨）
- 9 取締役・執行役員及び監査役/
株式の状況

将来情報に関するご注意

当報告書に掲載される情報のうち、歴史的事実
以外の情報は博報堂DYホールディングスの計画
及び見込みに基づく将来予測です。これらの将来
予測には、リスクや不確実な要因が含まれており、
実際の成果や業績と異なる可能性があります。

代表取締役会長CEO

戸田 裕一

代表取締役社長

水島 正幸

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

米中通商問題や国内外の地政学的リスクにより景気の先行きに対する不透明感が強まっている中、上半期の国内広告市場は低調に推移しましたが、当社グループではそのような環境においても売上高が前年同期を上回り、ここまでのところ概ね当初の計画通りの業績をあげております。

今後も新たな中計で掲げました3つの成長基盤である「広義デジタル領域でのリーディングポジション確立」「ボーダーレス化する企業活動への対応力強化」「外部連携によるイノベーションの加速」に加えて、データ／テクノロジー／インフラ／人材／M&Aなど幅広い分野で、よりいっそうの戦略投資を行うことで、スピーディーかつダイナミックな事業成長を目指してまいります。

また、当社グループは、持続的な成長と企業価値の継続的な向上の実現を目的とし、生活者の豊かな未来の創造、経済の伸長、社会の発展に貢献することを目指し、ESGに関する具体的な活動に取り組んでまいりました。今後も引き続き、企業としての社会的責任を果たしていく所存です。

株主還元につきましては、安定配当の考え方を基本に、業績の動向などを総合的に勘案して決定しています。当期の配当金は、前期から2.0円増配し、年間30.0円を予定しています。今般、中間配当は計画通り15.0円とさせていただきます。

株主の皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げますとともに、引き続き当社グループへのご理解をよろしくお願い申し上げます。

2019年12月

株式会社博報堂DYホールディングス

代表取締役会長 CEO

戸田 裕一

代表取締役社長

水島 正幸

業績の概況

当上期の業績

当上期の国内広告市場^{※1}は、マクロ経済の先行きに対する不透明感が強まる中、消費者と企業の景況感も低下傾向となっており、期待された消費増税前の特需もほぼ見られず、企業マインドが落ち込んだことも影響し、期初から低調な動きで推移しました。

このような環境下、当社グループは、2024年3月期を最終年度とする新たな中期経営計画に則り、積極的な事業展開を継続した結果、売上高は6,828億円（前年同期比2.9%増加）となりました。

当期の売上高を種目別に見ますと、4マスメディアでは、「ラジオ」が前年同期を上回ったものの、「テレビ」「雑誌」「新聞」が減少し、4マスメディア取引合計は前年同期を下回りました。一方、4マスメディア以外では、「インターネットメディア」の大きな伸びに加え「マーケティング/プロモーション」などすべての種目で好調に推移し、4マスメディア以外取引合計は前年同期を上回りました^{※2}。

売上総利益に関しては、主力事業は順調に拡大したものの、連結子会社のユナイテッド（株）による（株）メルカリ株式の売却益が大きく減少した影響があり、前年同期より13億円減少し、1,540億円（同0.9%減少）となりました。販売費及び一般管理費は、計画に沿って人件費を中心に積極的な費用投下を行った結果、9.9%の増加となり、その結果、営業利益は202億円（同39.9%減少）、経常利益は216億円（同39.3%減少）と、いずれも減益となりました。

これに特別利益146億円及び特別損失11億円を加味した税金等調整前四半期純利益は351億円（同35.3%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は197億円（同27.5%減少）と、当期に（株）リクルートホールディングス等の株式を売却したことによって投資有価証券売却益が140億円増加した

ものの、前年同期に退職給付信託返還益を162億円、年金制度の移行に伴う退職給付制度終了益を35億円計上したことの反動減もあって、いずれも減益となりました。

※1 「特定サービス産業動態統計調査」（経済産業省）

※2 当社の社内管理上の区分と集計によります。

通期の見通し

足元の国内広告市場は依然として若干不透明ではあるものの、上期業績はほぼ計画通りに推移していることもあり、通期の業績予想を変更することなく、売上高は1兆5,050億円（前期比4.2%増加）、営業利益は580億円（同11.2%減少）を見込んでおります。

また、親会社株主に帰属する当期純利益については、（株）リクルートホールディングス株式売却による特別利益を加味し、従来予想数値より70億円引き上げ、440億円としました。通期見通しの詳細は、以下の通りです。

	2019年3月期 実績	2020年3月期 通期見通し	前期比
売上高	14,445	15,050	+4.2%
売上総利益	3,248	3,350	+3.1%
営業利益	652	580	-11.2%
経常利益	687	610	-11.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	472	440	-6.9%
オペレーティング・マージン (%)	20.1	17.3	-2.8pt
のれん償却前営業利益	721	670	-7.2%
のれん償却前 オペレーティング・マージン (%)	22.2	20.0	-2.2pt

(注1) オペレーティング・マージン=営業利益/売上総利益

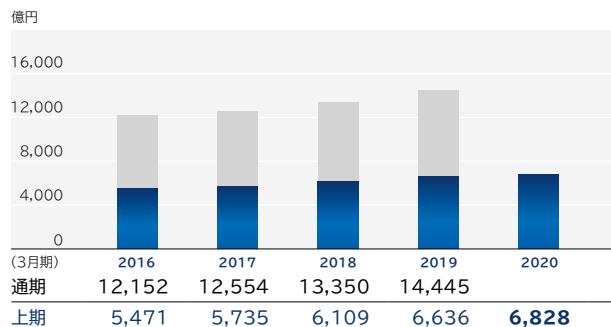
(注2) のれん償却前営業利益とは、企業買収によって生じるのれんの償却額等を除外して算出される営業利益

(注3) のれん償却前オペレーティング・マージン=のれん償却前営業利益/売上総利益

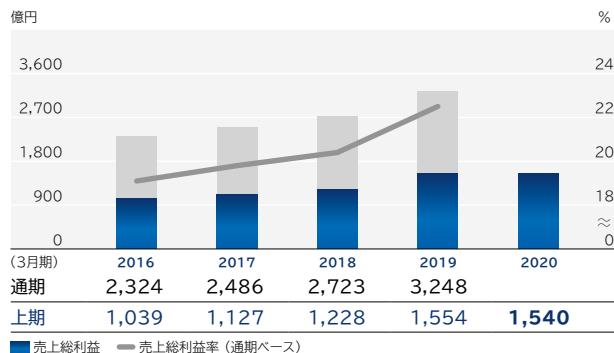
(注4) 業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

連結業績ハイライト

売上高



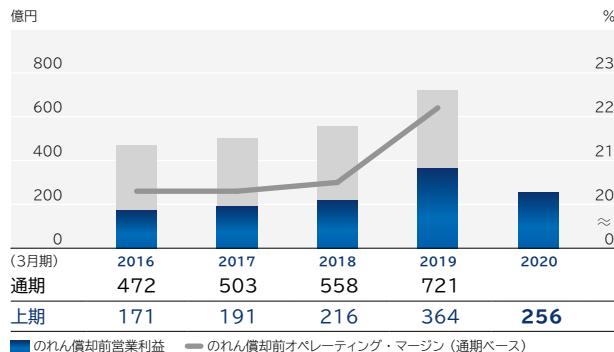
売上総利益／売上総利益率



営業利益／オペレーティング・マージン



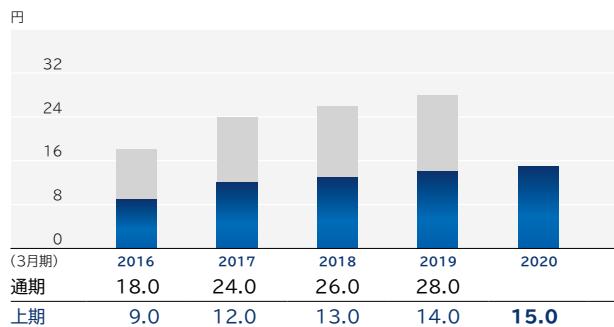
のれん償却前営業利益／のれん償却前オペレーティング・マージン



親会社株主に帰属する四半期純利益／ROE (自己資本利益率)



1株当たり配当金



「統合報告書 2019」を発行・公開

当社グループは、「統合報告書 2019」を発行し、博報堂DYホールディングスのHPでも公開しました。

博報堂DYグループの価値創造モデル

当社グループは、持続的な成長と企業価値の継続的な向上の実現には、利益成長とともに、事業を通じた社会課題解決への取り組みが重要だと考えています。

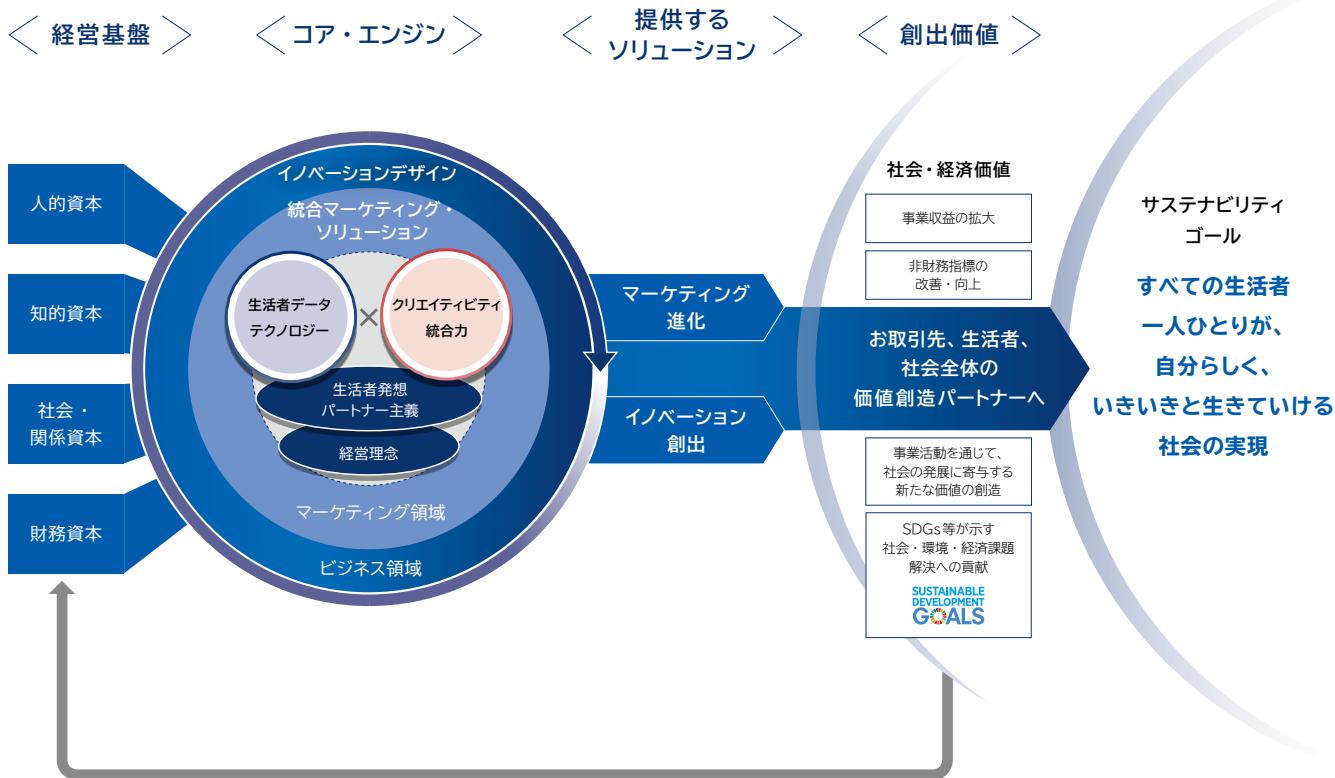
昨年より、経営戦略や事業活動、財務情報等を中心とした報告に加え、サステナビリティとESGに関する活動報告を包摂した「統合報告書」を作成・発行していますが、今年度版では、お取引先のビジネスパートナーとして持続的な事業成長を遂げながら、同時に生活者のパートナーとして社会全体の発展に寄与する“新たな価値”を創造し続けていくための“循環型の価値創造モデル”を策定し、ご紹介しています。

詳細については、当社HPよりご覧ください。

▶ 統合報告書2019 (日本語・英語)
<https://www.dac-holdings.co.jp/>



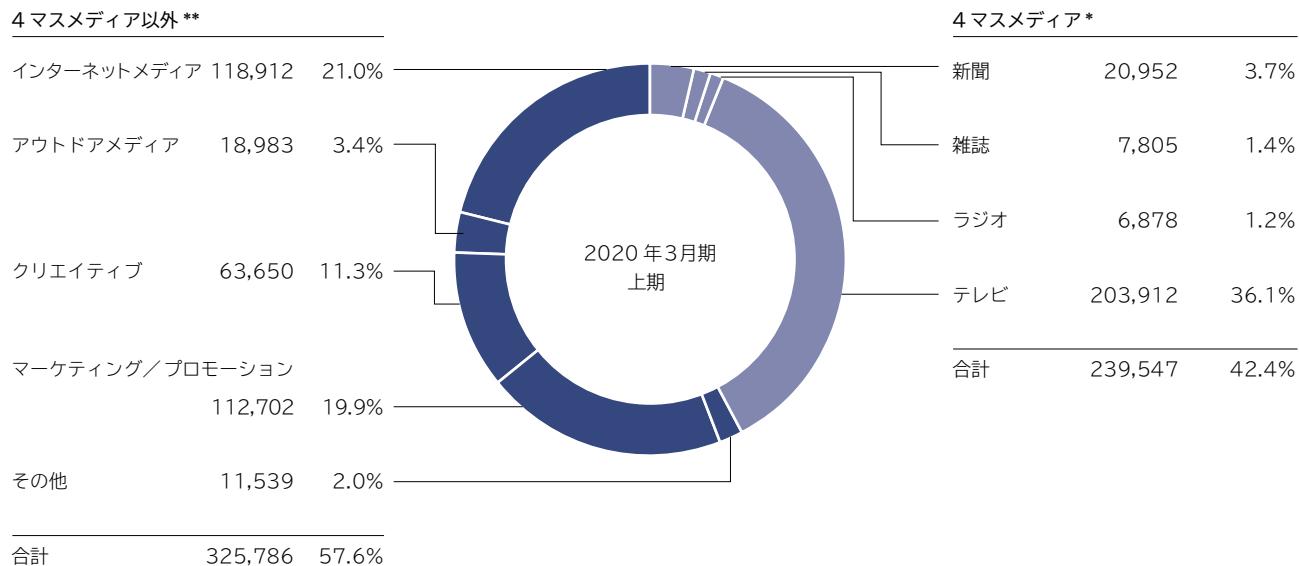
価値創造モデル



種目別売上高・構成比

種目別売上高・構成比

百万円



(注) 上記の数値は社内管理上の集計数値で、監査を受けておりません。

* 4マスメディア

新聞	国内で掲載・放送された広告枠の取引及び海外で掲載・放送された輸出広告枠の取引の合計となっています。
雑誌	
ラジオ	
テレビ	国内で掲載・放送された広告枠の取引及び海外で掲載・放送された輸出広告枠の取引の合計となっています。また、衛星放送も含まれます。

** 4マスメディア以外

インターネットメディア	インターネット、モバイル広告、リスティング広告枠の取引及び運用が含まれます。なお、これらに関わる広告表現の立案、広告制作に関する取引は「クリエイティブ」に含まれます。
アウトドアメディア	屋外広告、交通広告、折込広告等の掲出料及び制作費等の合計となっています。
クリエイティブ	「新聞・雑誌・ラジオ・テレビ・インターネット」の広告表現立案及び広告制作、広告出演者の契約料等が含まれます。
マーケティング/プロモーション	マーケティング、コミュニケーション、ブランド領域におけるコンサルティング、プランニング、調査業務等に関する取引及びSP、イベント、PR、CRM（カスタマーリレーションシップマネジメント）等のコンサルティング、プランニング、実施作業に関する取引等が含まれます。
その他	スポーツ、エンタテインメント、その他コンテンツ等に関する取引が含まれています。

グループ各社の業績概要

・HAKUHODO・

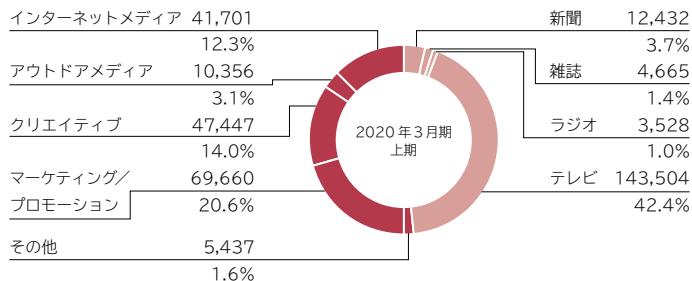
博報堂

連結主要業績

	百万円		増減額
	2019年3月期 上期	2020年3月期 上期	
売上高	445,068	466,020	20,952
経常利益	17,184	14,580	△2,604
親会社株主に 帰属する四半期純利益	22,489	7,698	△14,790

単体種目別売上高・構成比

百万円



DAIKO

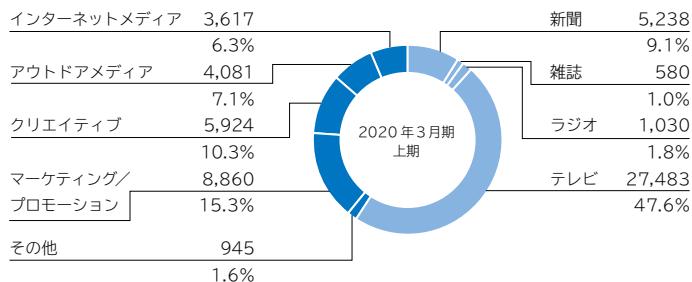
大広

連結主要業績

	百万円		増減額
	2019年3月期 上期	2020年3月期 上期	
売上高	76,602	77,616	1,013
経常利益	1,125	1,041	△84
親会社株主に 帰属する四半期純利益	784	418	△366

単体種目別売上高・構成比

百万円



YOMIKO

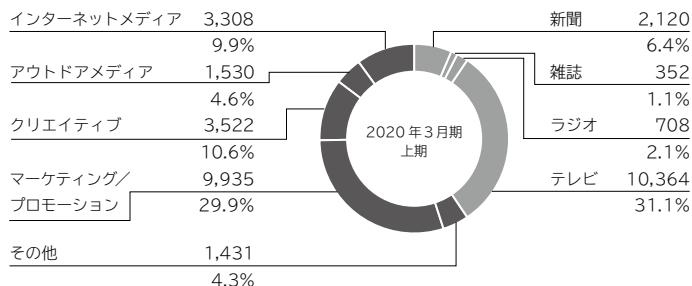
読売広告社

連結主要業績

	百万円		増減額
	2019年3月期 上期	2020年3月期 上期	
売上高	34,515	34,844	329
経常利益	552	683	130
親会社株主に 帰属する四半期純利益	355	445	89

単体種目別売上高・構成比

百万円



連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表（要旨）

百万円

科 目	2019年 3月31日現在	2019年 9月30日現在	増減額
資産の部			
流動資産	610,251	512,752	△97,499
固定資産	291,751	275,874	△15,876
有形固定資産	35,635	37,613	1,978
無形固定資産	54,279	56,029	1,750
投資その他の資産	201,836	182,231	19,605
資産 合計	902,002	788,626	△113,376

百万円

科 目	2019年 3月31日現在	2019年 9月30日現在	増減額
負債の部			
流動負債	424,272	327,328	△96,943
固定負債	161,308	151,104	△10,204
負債 合計	585,580	478,432	△107,148
純資産の部			
株主資本	226,596	241,451	14,855
その他の包括利益累計額	55,701	39,181	△16,519
新株予約権	180	202	22
非支配株主持分	33,943	29,358	△4,585
純資産 合計	316,421	310,194	△6,227
負債純資産 合計	902,002	788,626	△113,376

(百万円未満切捨)

連結損益計算書（要旨）

百万円

科 目	2019年3月期 上期	2020年3月期 上期	増減額
売上高	663,608	682,827	19,218
売上総利益	155,401	154,023	△1,377
販売費及び一般管理費	121,748	133,781	12,033
営業利益	33,652	20,241	△13,410
営業外収益	2,228	1,948	△280
営業外費用	265	582	316
経常利益	35,615	21,607	△14,007
特別利益	20,746	14,682	△6,064
特別損失	2,110	1,164	△946
税金等調整前四半期純利益	54,251	35,125	△19,125
法人税等	19,303	14,129	△5,174
非支配株主に帰属する 四半期純利益	7,674	1,233	△6,441
親会社株主に帰属する 四半期純利益	27,274	19,763	△7,511

(百万円未満切捨)

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

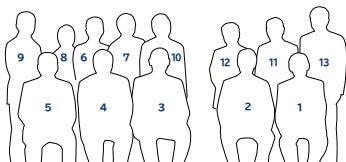
百万円

科 目	2019年3月期 上期	2020年3月期 上期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	△2,474	△18,842	△16,367
投資活動による キャッシュ・フロー	△9,313	4,242	13,555
財務活動による キャッシュ・フロー	△19,569	△12,055	7,513
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△592	△534	58
現金及び現金同等物の増減額	△31,949	△27,190	4,759
現金及び現金同等物の期首残高	143,850	152,154	8,304
現金及び現金同等物の 四半期末残高	112,338	124,964	12,625

(百万円未満切捨)

取締役・執行役員及び監査役／株式の状況

取締役・執行役員及び監査役



- | | |
|---------|----------|
| 1 成田 純治 | 8 落合 寛司 |
| 2 戸田 裕一 | 9 藤沼 弘毅 |
| 3 水島 正幸 | 10 矢嶋 昇 |
| 4 松崎 光正 | 11 松田 暢達 |
| 5 今泉 智幸 | 12 服部 徹 |
| 6 中谷 吉孝 | 13 山下 正紀 |
| 7 西岡 正紀 | |

取締役相談役	成田 純治	執行役員	禿河 毅
代表取締役会長CEO	戸田 裕一	執行役員	大塔 達也
代表取締役社長	水島 正幸	執行役員	島田 雅也
取締役専務執行役員	松崎 光正	常勤監査役	景山 和憲
取締役専務執行役員	今泉 智幸	常勤監査役	西村 治
取締役常務執行役員	中谷 吉孝	社外監査役	内田 実
取締役常務執行役員	西岡 正紀	社外監査役	山口 勝之
取締役	落合 寛司	社外監査役	太田 建司
取締役	藤沼 大輔		
取締役	矢嶋 弘毅		
社外取締役	松田 昇		
社外取締役	服部 暢達		
社外取締役	山下 徹		

専務執行役員	マイケル・バーキン
常務執行役員	赤木 直人
執行役員	多田 英孝
執行役員	徳久 昭彦

株式の状況

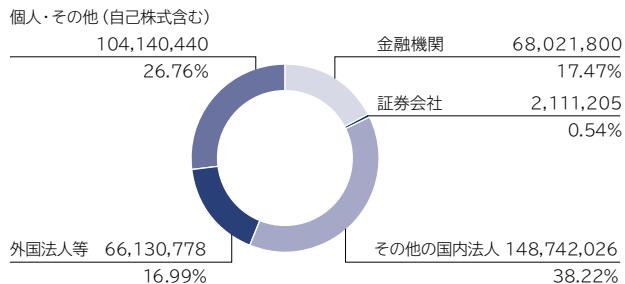
2019年9月30日現在

大株主 (上位10名)	持株数 (株)	持株比率 (%)
1 公益財団法人博報児童教育振興会	70,605,350	18.14
2 一般社団法人博政会	18,619,700	4.78
3 株式会社博報堂DYホールディングス	15,904,935	4.08
4 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	13,895,800	3.57
5 株式会社朝日新聞社	11,223,490	2.88
6 一般社団法人フラタニテ	11,000,000	2.82
7 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	9,898,200	2.54
8 日本テレビ放送網株式会社	8,620,000	2.21
9 博報堂DYホールディングス社員持株会	8,263,017	2.12
10 第一生命保険株式会社	6,930,500	1.78

発行可能株式総数	1,500,000,000株
発行済株式総数	389,146,249株
株主数	6,547名

所有者別株式分布状況

持株数 (株)



株主メモ

会社概要

会社名 株式会社博報堂DYホールディングス
設立 2003年10月1日
資本金 104億円
本社所在地 〒107-6320
東京都港区赤坂五丁目3-1 赤坂Bizタワー
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部 証券コード：2433
URL <http://www.hakuhodody-holdings.co.jp/>

事業年度 4月1日から翌3月31日まで
定時株主総会 6月中
基準日 定時株主総会議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

単元株式数 100株
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
特別口座の管理機関
同連絡先 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
〒103-8670
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
☎0120-288-324 (フリーダイヤル)
公告方法 日本経済新聞に掲載

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない方（特別口座の場合）
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
お問い合わせ先	お取引のある証券会社等になります。	☎0120-288-324 (フリーダイヤル) (土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00)
各種手続きお取扱店 (住所変更、株主配当金受取り 方法の変更等)		みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店※ ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	上記お取扱店に加え、みずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行につきましては、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・お問い合わせ先・各種手続きお取扱店をご利用ください。	特別口座では単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。



を使用しています

ユニバーサルデザイン仕様の「つたわるフォント」を採用しました
当報告書では、株式会社博報堂がユニバーサルデザインの発想に基づき、株式会社タイプバンク、慶應義塾大学と共同開発した独自フォントである「つたわるフォント」を使用しています。誤認防止、読みやすさ向上のため、慶應義塾大学による学術的な実証実験を経て開発されたものです。



この冊子はFSC®認証紙を使用し、環境に配慮した
Non-VOCインキで印刷しています。

